

水国用日本産ヨシノボリ属魚類の検索表（暫定第1版）

- 1a. 眼下の孔器列は横列型、背鰭前方鱗は櫛鱗からなる . . . . .  
. . . . .ゴクラクハゼ *Rhinogobius similis*
- 1b. 眼下の孔器列は縦列型、背鰭前方鱗は円鱗からなる . . . . . 2
- 2a. 胸鰭鰭条数 14~17（希に 18）、脊椎骨数 27-28、卵径約 6 x 2mm の大卵  
を生む . . . . .カワヨシノボリ *Rhinogobius flumineus*
- 2b. 胸鰭鰭条数 19 以上（希に 18）、脊椎骨数 26、卵径は大きくても約 2.8 x  
0.9mm の小卵を生む . . . . . 3
- 3a. 頬に赤色の迷路状模様または波状線が多数ある . . . . .  
. . . . .シマヨシノボリ *Rhinogobius nagoyae*
- 3b. いずれもない . . . . . 4
- 4a. 生時または生鮮時、頬に輝青色点が散在する（雄で顕著） . . . . .  
. . . . .ルリヨシノボリ *Rhinogobius mizunoi*
- 4b. 輝青色点がない . . . . . 5
- 5a. 胸鰭基底上部に明瞭な円形の黒色斑がある、尾鰭基底に明瞭で太い黒色  
横斑がある . . . . .オオヨシノボリ *Rhinogobius fluviatilis*
- 5b. いずれもない . . . . . 6
- 6a. 体側正中線上に黒色破線が並ぶ、体背側に黒色点が密在する（雌で顕著）  
. . . . .クロヨシノボリ *Rhinogobius brunneus*
- 6b. いずれもない . . . . . 7
- 7a. 雄の尾鰭基底に橙色斑がない . . . . . 8
- 7b. 大きな橙色斑がある . . . . . 11
- 8a. 雄の第 1 背鰭は高い烏帽子状になる . . . . .ヨシノボリ属の 1 種 *Rhinogobius sp.*
- 8b. 雄の第 1 背鰭は低く半円形、台形、将棋駒形で高くない . . . . . 9
- 9a. 第 1 背鰭前方、腹部は無鱗（第 1 背鰭前方に数個の鱗を被ることもある）  
. . . . .ビワヨシノボリ *Rhinogobius biwaensis*
- 9b. 第 1 背鰭前方、腹部は円鱗を被る . . . . . 10
- 10a. 頭部に前鰓蓋管がある、第 1 背鰭に黒色横斑がない . . . . .  
. . . . .シマヒレヨシノボリ *Rhinogobius sp. BF*
- 10b. 頭部に前鰓蓋管がない、第 1 背鰭に黒色横斑が並ぶ . . . . .  
. . . . .トウカイヨシノボリ *Rhinogobius sp. TO*

- 11a. 雄の第1背鰭は半円形、台形、将棋駒形、あるいは後端上部がやや伸長する台形である . . . . . 12
- 11b. 雄の第1背鰭は高い烏帽子状になる . . . . . 14
- 12a. 中部地方以西に分布する . . . . .  
. . . . . トウヨシノボリ類 *Rhinogobius* sp. OR unidentified
- 12b. 関東地方以北に分布する . . . . . 13
- 13a. 頭部に通常、後眼肩甲管（開孔 K', L'）がない . . . . .  
. . . . . クロダハゼ *Rhinogobius kurodai*
- 13b. 後眼肩甲管がある . . . . . トウヨシノボリ類 *Rhinogobius* sp. OR unidentified
- 14a. 尾鰭に横線や横点列がある . . . . .  
. . . . . トウヨシノボリ類 *Rhinogobius* sp. OR unidentified
- 14b. ない . . . . . 14
- 15a. 琵琶湖流入河川に生息する . . . . . オウミヨシノボリ *Rhinogobius* sp. OM
- 15b. 房総半島南部の河川に生息する . . . . . カズサヨシノボリ *Rhinogobius* sp. KZ
- 15c. その他の地域に分布する . . . . .  
. . . . . トウヨシノボリ類 *Rhinogobius* sp. OR unidentified

この検索表は小笠原諸島と南西諸島に固有な種を除く。これらの地域は日本産魚類検索第3版にしたがう。

トウヨシノボリ種群（雄の尾鰭基底に橙色斑がある種、亜種、個体群）の分類学的研究や遺伝学的研究は過渡期にあり、図鑑ごとに著者の見解により種の扱いや標準和名が異なっている。新しい図鑑が全て正しいとは限らない。

ビワヨシノボリとオウミヨシノボリがアユやコイなどの種苗とともに他地域に移入された際に、そこに住むクロダハゼ、シマヒレヨシノボリ、トウカイヨシノボリなどと互いに交雑、あるいは交雑するその可能性がある。交雑個体はモザイク状に形質が発現することから分類の混乱に拍車をかけている。

そのため、コンサルト業界の方々がスムーズに同定ができるよう、「水国用日本産ヨシノボリ属魚類の検索表（暫定第1版）」を準備した。今後、これに従い同定を進めて頂きたい。また、分類学的研究の進展に伴い順次改訂していく予定である。

ヨシノボリ類は雄が特徴的な色斑を示す。この検索表は雄成魚の色斑を主

に用いては作成した。したがって、雌のみ、幼魚ではたいてい同定は困難である。また同定には同一地点の複数の雄によるのが望ましく、色斑の確認は生時や生鮮時が望ましい。

水国は調査標本と写真を残すことがマニュアルに明記されている。その際、同定に使用した個体を水槽内撮影し標本にすることをお願いしたい。

2019.1.21

河川水辺の国勢調査 魚類スクリーニング委員 鈴木寿之